

【認知症カフェ「オリーブカフェ」】

①認知症の方や介護をされているご家族、介護予防をされたい方々や地域住民、医療、介護の専門職などが気軽に集い、和やかな雰囲気の中、対話や交流、催しを通じて介護相談や介護予防、情報交換など神愛園の資源を活用し、世代を超えて地域の皆様を支えるコミュニティの場とします。

②・関わった人（特養施設長、相談員、ケアマネージャー）（軽費老人ホーム A 型施設長、相談員）（居宅介護相談センター長、ケアマネージャー、ヘルパー）（小規模多機能居宅介護 施設長）

・認知症の方を介護しているご家族の参加も時々あり、実際に相談をうけることがあった。デイサービスやショートステイのサービス利用につながった方もいた。

【地域包括ケアシステム（オレンジカフェ）】

①高齢者の寄り合い、認知症カフェ

この会を通して地域の閉じこもりがちの高齢者の方が外に出られ、地域・社会と交流できる支援。

また、困りごと、悩みを多職種にて相談できる環境を提供しています。

②閉じこもっていた高齢者が、この会に出席し色々な方との交流から通所介護事業を定期的に自ら利用できるようになった。

社会福祉法人 富門華会 安平町

【社会福祉法人 富門華会 地域公益活動】

①安平町認知症カフェの主体的運営

平成30年度より当会の役職員が安平町民の有志の方々と運営委員会を組織し、会合を重ね認知症カフェを開催する計画でいた矢先に9月6日の胆振東部地震が発生し、当安平町も大きな被害を受け、しばらくの間中断していたが、平成31年度よりカフェを毎月開催することとなり、4月に実施する第1回目のカフェの準備を行っている。認知症である家族の方を抱えているといった方、認知症について関心のある方、学びたいという方、あるいはただ何となくどんなことをやっているのだろうと立ち寄ってみたという方、この活動に興味があって協力したいといった方など、町民などどなたでも気軽に来て頂き、認知症に関するミニ学習会、個別相談コーナー、専門家によるセラピューティックケア（マッサージ）、コーヒーを飲みながら談笑・談話するといった内容で実施することから始める予定です。

②元々は、安平町地域包括支援センターが主催する町民有志の「認知症サポーターの会」の実施する研修会の講師として、当会の認知症高齢者グループホーム管理者がお手伝いを行うなどしていた。最近では、各市町村内に様々な形態で認知症カフェが行われており、当町においても継続したカフェが実施できないものか、当会が運営委員会を組織し、当会の役員や職

員が加わり、実際にカフェを開催し、主体的に関わっていこうと計画している。まずは、カフェ開催を積み重ねていくことを目指し、その先は認知症サポーターとして関心のある町民有志の方々だけで主体的にカフェを運営していくことができるように取組みを始めたいと思います。